

2016年 あじさいまつり俳句優秀作品

榎本 達 選

特 選

あぢさゐるを見るとよぎるは祖母の笑み 新宿区 菊池 良子

評 紫陽花が好きだったであろう祖母のやさしさも蘇ります。

人の死に慣れる哀しさ濃紫陽花 府中市 保坂 俱孝

評 一人の死も哀しいはずなのに、日常でも重なると慣れてきてしまうということがあると思われまます。

ときめきぬ山あぢさゐのゆかしき名 府中市 志田 礼子

評 山紫陽花はまことに優雅な名を持ち、名札を見ては感心してしまいます。

茅葺きの屋根の落着く濃紫陽花 府中市 柿谷 妙子

評 春先に葺き替えられた屋根が落着いてきた様を捉えました。濃紫陽花もよく合っているように感じられます。

三姉妹個性様々額紫陽花 立川市 渡辺 珠恵

評 姉妹とはいえまことに性格は様々でしょう。辞書によれば額紫陽花は園芸種の母種だとか。

佳 作

あぢさゐや仲良き四人集まりて	文京区	杉本 佳奈
紫陽花に車椅子寄せ瞳よせ	立川市	手塚美津子
紫陽花や梅櫺庵とある門に入る	府中市	水島案山子
古民家の薪の湿りや額の花	府中市	小室 清恵
紫陽花や茅で葺きたる長屋門	東久留米市	吉田 恒雄
長屋門くぐりて涼しはけの風	府中市	小林美智恵
紫陽花の道は木片チップ敷く	狭山市	古谷多賀子
香の満ちて泰山木の花の下	府中市	山田 節子
どこゆくも紫陽花の待つ園うれし	府中市	芝 喜久子
あぢさゐが静かに咲いた曇り空	府中市	松本 幸子

(敬称略 新漢字・歴史的仮名遣い 順不同)

【榎本 達】昭和二三年東京都府中市生まれ。市村究一郎に師事。

俳人協会会員。